

**manual**  
取扱説明書

*Wadia* **170iTransport**  
with Universal Dock for iPod

## Thank you

このたびは、Wadia 170iTransport をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
Wadia 170iTransport は、長きにわたり音楽を聴く楽しみと音楽に浸る喜びを約束します。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。  
本取扱説明書を一通りお読みの上、操作の詳細について充分にご理解いただき正しくご使用の上、  
未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 目次

ご使用上の諸注意		4
	Wadia digital について	5
	デジタルオーディオの優位性	7
	高音質のために	8
付属品について	開梱と付属品	9
	リモートコントローラーの電池と電源コード	10
	ドックアダプター	11
接続について	デジタルケーブル	12
	接続端子	13
	接続方法	14
操作について	使用できる iPod	16
	ドッキング	17
	iPod 各モデルの動作と操作	18
	アナログ出力モード	20
	リモートコントローラー	21
リモートコントローラーの電池交換		22
故障と思ったら		23
仕様		24
保証		25
FAQ/よくあるご質問		26

## ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- ご使用前に取扱説明書をお読み下さい。
- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本体のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく部品はありません。専門の技術者におまかせください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接シャーシに付けることは避けてください。

## Wadia Digital について

1988年に誕生したWadia Digitalは高性能なデジタルオーディオ機器の開発に多大な貢献をし続けています。Wadia Digitalは、先進的なデジタル通信技術の研究・開発を行っていたミネアポリスを拠点とする3M Corporation (Minnesota Mining and Manufacturing)の技術者達によってスタートを切りました。

1980年代初頭に登場したCDの再生技術に彼らは非常に興味を持ちましたが、CDの音質は彼らを満足させるに至りませんでした。彼らは再生機器を考察し、今までに携わってきたデジタル通信技術と比較した結果、再生機器のデジタル設計の未完成度を認識すると同時に可能性にも気づきました。

そうして彼らは、専門分野でたくわえたデジタル技術と知識をデジタルオーディオ機器に注ぎ込む為にWadia Digitalを設立するに至ったのです。

Wadia Digital最初の製品は、Wadia2000 Decoding Computerと命名されデジタルオーディオの世界に衝撃を与える画期的な製品となりました。また多くの音楽愛好家にデジタルオーディオの持つ可能性を証明しました。

以来、Wadia Digitalはデジタルオーディオ技術の研究・開発の歩みを止めることなく、世界中の音楽愛好家およびオーディオ愛好家から支持され続け、デジタルオーディオ技術において常にスタンダードであり続けています。

## Wadia Digital 過去 20 年の技術革新の歩み

特許技術 DigiMaster™ Algorithm (時領域処理によるフィルターの音質向上技術)

ClockLink™ (ジッター・リダクション技術)

SwiftCurrent™ (電流電圧変換技術)

世界初の外部別体 D/A コンバーターの開発・発売

可聴帯域内のジッターによる歪の認識

完璧なデジタルボリュームの開発

世界初の一体型ハイエンド CD プレーヤーの開発・発売

世界初の iPod からデジタル信号をダイレクトに取り出す機器の開発・発売

Wadia Digital の技術的バックグラウンドに裏づけられたこれらの技術革新はまさに特筆すべき足跡といえます。しかしながら Wadia Digital はテクノロジーだけが音楽再生においてすべてではないと深く認識しています。Wadia Digital の全ての製品は、音楽に対する情熱に支えられ、繊細且つ精緻なテクノロジーによって生み出されています

Wadia Digital はデジタル音楽再生の限界に常に挑み続けています。

Wadia 170iTransport は、デジタル音楽再生への Wadia Digital の新たなる解答となるでしょう。

## デジタル・オーディオの優位性

デジタル信号の伝達は、アナログ信号に付きまとう伝達回路と接点に起因する解像度の劣化や歪が発生しません。

本機は、iPod の D/A 変換部とアナログ出力部をバイパスしデジタル信号のみをダイレクトに取り出します。 iPod に取り込まれている音楽データを、最もハイクオリティーな状態でより高性能な外部の D/A コンバーターへと送り出せます。

まさに本機は、iPod を単なる携帯音楽プレーヤーではなく、ハイパフォーマンスな音楽再生プレーヤーへと進化させます。

## 高音質のために

iPod から高音質で音楽を取り出す為には、まず最初にオリジナルの音楽データを劣化させることなく iPod に取り込む必要があります。現時点ではオリジナルの音楽データを非圧縮で取り込める WAV 形式が最もクオリティが高く、次に圧縮して取り込んだ音楽データを劣化無しに復元できる可逆圧縮方式(ロスレス圧縮)の Apple Lossless(アップル・ロスレス)形式がオリジナルの音楽データをハイクオリティに取り込める方法です。

Apple Lossless(アップル・ロスレス)形式で取り込んだ音楽データの容量は、WAV 形式に比べ約 50%の容量になります。

WAV 形式または Apple Lossless(アップル・ロスレス)形式の選び方

Mac [iTunes]を起動 「iTunes」 「環境設定」 「一般」 「インポート設定」

Windows [iTunes]を起動 「編集」 「設定」 「一般」 「インポート設定」

「インポート設定」から、WAV エンコーダーまたは Apple ロスレス・エンコーダーを選択します。

## 付属品について

### 開梱と付属品

梱包の蓋を開けて、以下のものが揃っていることをご確認ください。

Wadia170 iTransport 本体

AC アダプター

電源コード

リモートコントローラー(電池は挿入済みです。)

同軸デジタルケーブル

DOCK アダプター (5 種類 内 1 種類は本体に予め装着済み)

取扱説明書(日本語・英語)

保証書

アナログ出力、S 映像、コンポーネント映像出力用ケーブルは付属していません。  
必要な場合には取扱店にご相談の上、別途ご用意下さい。

万が一、付属品の不足または輸送のダメージを発見しましたら、ご購入店までご連絡ください。

梱包材は、将来輸送の際、輸送中の損傷等を防ぐために役立ちますので保管しておいてください。

## リモートコントローラーの電池

リモートコントローラーには、あらかじめ電池が挿入されています。ボタン型リチウム電池(CR2025)ご使用の前に電池と接点間に挿入されている透明のプラスチック・シートを取り除いてください。

## 電源コード

付属の電源コードは、日本国内用の AC100V 仕様です。

本機に付属の AC アダプター及び電源コードは本機専用ですので、他の機器ではご使用になれません。

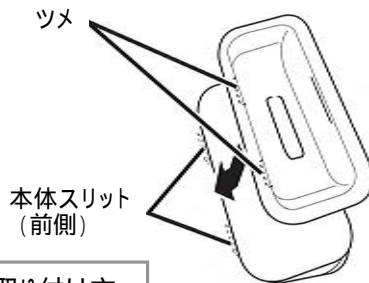
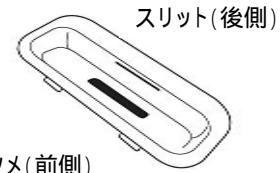
## ドックアダプター

本機には5種類のドックアダプターが付属しています。  
各アダプター裏側に、対応する iPod モデル名が表記されています。

	表記モデル名
1) iPod nano 第1世代用	nano
2) iPod nano 第2世代用	2G nano
3) iPod nano 第3世代用	nano-3G
4) iPod(video)第5世代/60&80GB、 iPod classic/160GB 用	video 60G 160G classic
5) iPod(video)第5世代/30GB 用、 iPod classic/80&120GB 用、iPod touch 用	video 30G 80G classic/touch

\* iPod nano 第4/5世代用アダプターは付属していません。nano 本体に付属のアダプターをご使用下さい。

**お手持ちの iPod に適合したドックアダプターを必ず取り付けてから本機をご使用ください。**

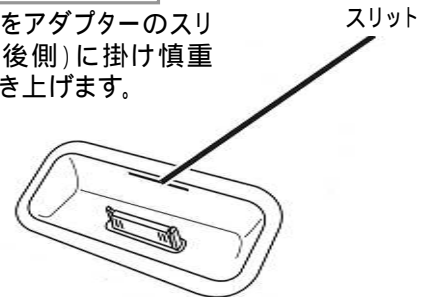


### 取り付け方

本機のコネクター保護キャップを外し、アダプターのツメを本体スリット(前側)にあわせ、アダプター後側をカチッと音がするまで押し込んでください。

### 取り外し方

指先をアダプターのスリット(後側)に掛け慎重に引き上げます。



## 接続について

接続ケーブルの抜き挿しの際は、静電気に十分ご注意ください。静電気により本機が操作を一切受け付けず音も出なくなるロックアップの不具合が発生する場合があります。手を本機に触れながらケーブルを抜き挿しすると不具合の発生を未然に防げます。

(“故障と思ったら” P23 をご参照下さい。)

## デジタルケーブル

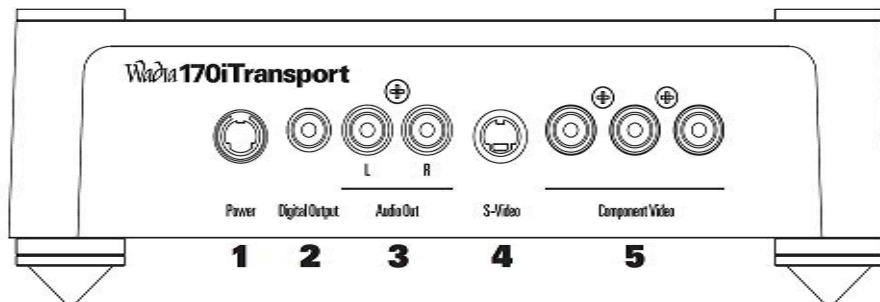
本機のデジタル出力端子に接続できるケーブルは、RCA 端子の同軸(S/PDIF)規格 75 のデジタルケーブルです。

iPod からのデジタル出力の音質は、デジタルケーブル及び接続される機器により異なります。

付属のデジタルケーブルにおいてもハイクオリティーな音質は得られますが、市販の高品質デジタルケーブルの使用による更なる音質向上も可能です。

市販のケーブルにつきましては、ご購入の販売店もしくは取扱店にご相談下さい。

## 接続端子と接続方法



1 Power/電源 : 付属の AC アダプターからの専用コードと本機を接続します。

2 Digital Output/デジタル出力 : iPod のデジタル信号を出力します

3 Analog Out/アナログ出力 : iPod のアナログ信号を出力します。

\* リモコンによるモード切替が必要です。 20 ページ

また、デジタル出力と同時出力は出来ません。

4 S-Video/S 映像出力 : iPod(video)第 5 世代(30GB, 60GB, 80GB)の映像を出力します。

\* 本機を S 映像出力モードにする必要があります。 19 ページ

また、S 映像出力モードでは、デジタル信号は出力されません。

5 Component Video/コンポーネント映像出力 : iPod classic, iPod touch, nano 第 3&4 世代の映像を出力します。

## デジタル出力の接続

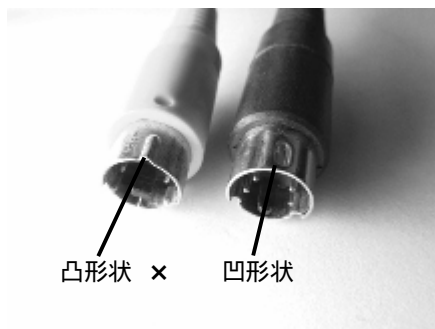
RCA 端子の同軸(S/PDIF)規格 75 のデジタルケーブルを“Digital Output”と D/A コンバーターや AV プロセッサの同軸デジタル音声入力端子と接続します。

## アナログ出力の接続

RCA 端子のラインケーブル(Lchと Rch)を“Audio Out”とプリアンプやプリメインアンプ等のアナログ入力端子と接続します。

## S/コンポジット映像出力の接続 (iPod video だけの機能)

市販の S 端子の映像ケーブルを“S-Video”とテレビや AV プロセッサ等の S 入力端子と接続します。本機の S ビデオ出力からコンポジットビデオ出力を取り出すには、市販の S 端子 コンポジット端子の変換アダプターが別途必要です。ご購入の販売店もしくは取扱店にご相談下さい。



- \* S 端子は、接点部分の内側に突起がある形状と外側に突起がある形状の 2 種類あります。本機に使用できる S 端子映像ケーブルは、接点形状が写真右のように凹形状接点の S 端子映像ケーブルになります。
- \* 写真左側凸形状接点の S 端子を本機の S 映像出力端子に接続すると抜けなくなるおそれがありますので S 端子映像ケーブル使用の際は、端子形状を必ずご確認ください。

使用上の誤りに起因するコネクター端子などの故障につきましては、無償修理保証の対象外になりますのでご注意ください。

## コンポーネント映像出力の接続

市販のコンポーネント映像ケーブルを“Component Video”とテレビや AV プロセッサー等のコンポーネント入力端子と接続します。本機の映像出力は、iPod に取り込まれた映像をそのまま出力するため、映像のクオリティーは取り込まれた映像に影響されます。クオリティーを最大限引き出す為に、ディスプレイの調整が必要な場合があります。

## 電源コードの接続

付属の電源コードと AC アダプターを接続し、AC アダプターから出ている専用コードを“Power”に接続します。専用コードのコネクターは、ロック機構が付いていますので必ずコネクターを持って抜き差ししてください。コネクターの平らな部分が上面になるように持って、内側の金属の接点部分がしっかりと奥に入るまで押し押し込んでください。

最後に電源コードのプラグをコンセントに押し込んでください。

## 操作について

### 使用できる iPod



**iPod**  
5th generation (video)  
30GB



**iPod nano**  
1st generation  
1GB 2GB 4GB



**iPod**  
5th generation (video)  
60GB 80GB



**iPod nano**  
2nd generation (aluminum)  
2GB 4GB 8GB



**iPod classic**  
80GB 160GB 120GB



**iPod nano**  
3rd generation (video)  
4GB 8GB



**iPod touch**  
8GB 16GB 32GB 64GB



**iPod nano**  
4th 5th generation  
8GB 16GB

( )但し、iPod Touch(iOS4.0)では、音途切れなど症状が発生することがあります。その場合は、一旦 iPod をドックから外し、完全電源オフ(スリープボタン長押し 赤スライダー操作)して再度電源オンにし、「ミュージック」モードにしてからドックに差し込んでください。また尚、iOS4.1 は 2010 年 9 月現在サポートされておりません。

## ドッキング (iPod を本機にセットする)

iPod を本機にドッキングする前に、まず本機のコネクター端子保護キャップ、および予め装着済みのドックアダプターを外し、ご使用の iPod に適合したドックアダプターを取り付けます。

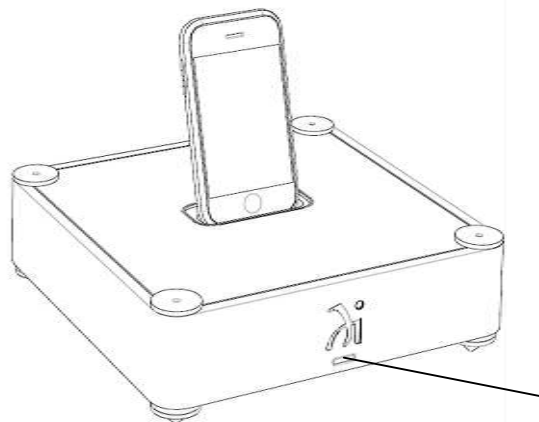
(11 ページ : ドックアダプター参照)

次に、iPod 本体の Dock コネクターポートを本機 iPod コネクター端子に押し込みます。

(本機のコネクター端子は、若干後ろに傾いていますので、iPod とコネクターの角度を揃えてゆっくりと無理な力を加えず押し込んでください。)

本機から iPod を取り外すには、ドッキング時と同様に iPod の角度を変えずにゆっくりと引き抜いてください。

- \* 必ずご使用の iPod に適合したドックアダプターを取り付けた状態で使用してください。
- \* 使用上の誤りに起因するコネクター端子などの故障につきましては、無償修理保証の対象外となりますのでご注意ください。



**ドッキング後、約 10 秒待ってから操作をはじめてください。**

この間に iPod と iTransport のマイクロプロセッサが相互確認をしています。相互確認中の 10 秒間に何らかの操作をすると問題の発生するおそれがあり、iPod と iTransport のリセットが必要になる場合があります。

**リモートコントローラー受光部 (点灯しません)**

## iPod 各モデルの動作と操作

本機は、下記 6 モデルの iPod をサポートしています。

それぞれのモデルで動作および操作が異なりますので、ご使用のモデルをご参照下さい。

	デジタル出力	クリックホイール操作 (デジタル出力時)	アナログ出力 *1	S ビデオ出力	コンポーネント出力
nano 第 1 世代		× *4		×	×
nano 第 2 世代				×	×
nano 第 3&4 世代				×	
Video 第 5 世代		× *4		*2	×
classic				×	
touch		*3		×	

\*1 : リモートコントローラーの“mode”ボタンを押しデジタル出力モードからアナログ出力モードへ切り替えます。デジタルとアナログの同時出力はできません。再びデジタル出力モードで使用するには、iPod を取り外し再びドッキングさせます。(20 ページ参照)

\*2 : リモートコントローラーの“mode”ボタンを押し S 映像出力モードへ切り替えます。(19 ページ参照)

\*3 : タッチスクリーン操作

\*4 : Wadia ロゴが iPod のスクリーンに表示されクリックホイール操作が機能しなくなります。(19 ページ参照)

iPod のファームウェアを最新( )に更新してください。旧バージョンのファームウェアの場合、動作上不具合の発生する可能性があります。

( )但し、iPod Touch(iOS4.0)では、音途切れなど症状が発生することがあります。その場合は、一旦 iPod をドックから外し、完全電源オフ(スリープボタン長押し 赤スライダー操作)して再度電源オンにし、「ミュージック」モードにしてからドックに差し込んでください。また尚、iOS4.1 は 2010 年 9 月現在サポートされておりません。

## iPod nano 第 1 世代と iPod (video)第 5 世代の操作方法

iPod nano 第 1 世代または iPod (video)第 5 世代を本機にドッキングすると、iPod のスクリーンに Wadia ロゴが表示され自動的にデジタル出力モードになります。

デジタル出力モード時には、iPod のクリックホイール操作は機能しなくなります。付属のリモートコントローラーで操作をしてください。

iPod のミュージックの項目(プレイリストやアルバム等)を再生するには、ドッキング前に再生したいプレイリストやアルバムを再生しながらドッキングします。ドッキング後も引き続きその項目を再生します。特定の項目が再生されていないと、ドッキング後“全曲“を再生します。

お使いの iPod に 44.1kHz(サブサンプリングレート)の音楽・映像が取り込まれていない場合、48kHz で取り込まれた音楽・映像がデジタル出力されません。またサンプリングレート 48kHz で iPod に取り込まれた音楽を再生しながらドッキングすると再生がストップします。

再生するにはサンプリングレート 44.1kHz の曲を含むプレイリストを作成し、そのプレイリストのサンプリングレート 44.1kHz の曲を再生しながらドッキングし、リモートコントローラーでサンプリングレート 48kHz の曲を選んでください。

iPod (video)ドッキング時に S-video 映像を出力するには、リモコンの“mode”ボタンを押します。

(iPod のビデオ設定の TV 出力をオンにしてください。)

アナログ出力モードへ切り替わると同時に S 映像出力モードになります。S 映像出力からコンポジット映像出力を取り出すには、市販の S 端子 コンポジット端子の変換アダプターが別途必要です。

再びデジタル出力モードで使用するには、一度 iPod を取り外し再びドッキングさせます。

- \* アナログモードで使用後、iPod を取り外すとスピーカーから小さいハムノイズが聞こえる場合があります。本機と接続している機器の入力セレクターを iPod から他の入力に切り替えてください。

## iPod nano 第 2, 3,4 世代と iPod classic, touch の操作方法

ドッキング後 iPod のメニューがスクリーンに表示されクリックホイール(iPod nano, classic), または、タッチスクリーン(iPod Touch)で操作できます。  
映像を再生するには、iPod のビデオ設定の TV 出力をオンにしてください。

お使いの iPod に 44.1kHz (サブサンプリングレート) の音楽・映像が取り込まれていない場合、48kHz で取り込まれた音楽・映像がデジタル出力されません。  
サンプリングレート 48kHz で iPod に取り込まれた音楽・映像が再生できない場合は、iPod を操作しサンプリングレート 44.1kHz の音楽または映像を一度再生してからサンプリングレート 48kHz の音楽または映像の再生をしてください。

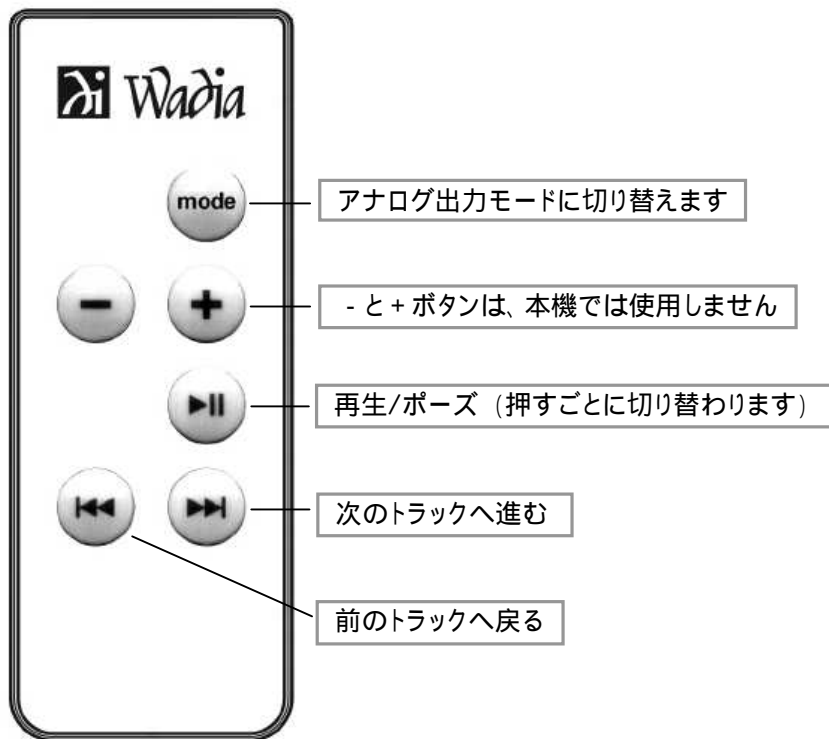
## アナログ出力モード

本機は、デジタル出力とアナログ出力を同時に出力できません。  
iPod を本機にドッキングすると自動的にデジタル出力モードになります。  
アナログ出力モードに切り替えるには、リモートコントローラーの“mode”を押します。  
アナログ出力モードになると、自動的にデジタル出力は OFF になります。  
アナログ出力モード時の音量は、iPod ではコントロールできませんので本機と接続している機器のボリュームで音量を調節してください。

- \* アナログモードで使用後、iPod を取り外すとスピーカーから小さいハムノイズが聞こえる場合があります。本機と接続している機器の入力セレクターを iPod から他の入力に切り替えてください。

## リモートコントローラー

付属のリモートコントローラーにより、ドッキングした iPod の操作ができます。



Wadia 社現行プレーヤーのリモートコントローラーでも付属のリモコン同様の操作ができます。

本機のリモートコントローラーでは、Wadia 社プレーヤーの操作はできません。

Apple リモートでの操作は受け付けません。

## リモートコントローラーの電池交換

本機は出荷時に電池が装着されています。

リモコンの電池を交換するときはボタン型リチウム電池(CR2025)を下記の要領で交換してください。

リモコンの表を下にして、平らな面に置きます。

下部中央の電池ホルダー引出し口の左端を右に押しながら同時に引き出し口を引き出します。

引き出した電池ホルダーから古い電池取り除き、新しい電池を置きます。( + が上)

電池ホルダーごと元のように奥まで挿し込みます。

これでリモートコントローラーは動作状態になります。

\*リモートコントローラーの操作に本機が応答しなくなったら、リモートコントローラーの電池を交換してください。

\*長期間リモートコントローラーを使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。電池の液漏れによって、リモートコントローラーが故障する場合があります。



### 安全に関するご注意

リモートコントローラー用の電池の取扱について

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、または液もれや破裂をひきおこし、機器の故障やけがなどの原因となります。

誤飲防止のため電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。

電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。

分解、加熱、火に入れるなどしないでください。

+ - を逆に入れないでください。

+ - をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。

この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。

電池に直接はんだ付けをしないでください。

電池そのものや電池を入れたリモートコントローラーの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけてください。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。

電池の液が漏れて目に入った、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

長期間ご使用にならない場合はリモートコントローラーから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。

電池の使用推奨期限:通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

## 故障と思ったら

### 接続時/ドッキング時

本機と iPod のドッキングおよび本機と各ケーブルの接続には、決して無理な力は加えないで下さい。スムーズにドッキングができない場合は、一度 iPod を本機から取り外し、本機と iPod のドッキング・コネクタに不具合が無いのを確認のうえ再びドッキングしてください。本機各出力端子にケーブルを接続する際にも同様に、スムーズに接続ができない場合は、一度端子を抜き本機とケーブル端子に不具合が無いのを確認のうえ再接続してください。

**\* 使用上の誤りに起因する故障につきましては、無償修理保証の対象外になります。**

### ロックアップ/Lock-up

様々な要因(静電気、電源サージ、電波障害等)により本機がロックアップし操作を一切受け付けず音も出なくなる場合があります。

本機がロックアップした場合は、電源コードを一度抜き、30 秒以上待って再び電源コードを接続してください。それでも復帰しない場合は、iPod を一度取り外し再びドッキングしてください。

なおロックアップが解消しない場合は、お買い求めの販売店へご連絡下さい。

### iPod のリセット/Reset

iPod側の要因でiPodが操作不能になったり音が出なくなったりする場合があります。

その時は、iPodのリセットをしてください。

iPod : ホールドスイッチのオン/オフを切り替えます(ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します)。

センターボタンとメニューボタンを同時に押し、アップルロゴが表示されるまで6~10秒押し続けます。

iPod touch : スリープ/解除ボタンとホームボタンをアップルロゴが表示されるまで押し続けます。

iPod に問題の原因がある場合は、iPod 取扱説明書またはアップル社ウェブサイトをご参照下さい。



#### 仕様

デジタル出力 : 同軸 S/PDIF (RCA 端子)

アナログ出力 : シングルエンド(RCA 端子)

ビデオ出力 : S 端子、コンポーネント(RCA 端子)

最大消費電力 : 10W

外形寸法 : 203.2 W x 68.6 H x 203.2\* D (mm)

(\*突起部含む最大 209mm)

重量 : 1.1kg

- \* 改良のため仕様は予告なく変更することがあります。
- \* 本機と iPod をドッキングしてご使用の際、iPod のデータに不具合が生じても、弊社は一切の責任を負うことが出来ませんので予めご了承下さい。
- \* アップル社は、本機の動作ならびに安全上の使用規定に関与しません。



本製品は、アップル社の「Made for iPod」認定商品です。

iPod は、apple 社の登録商標です。

## 保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

同梱の保証書の必要事項(ご購入日とご購入店)をご確認の上、大切に保管してください。

必要事項の記載が無い場合は、ご購入時の販売証明書(レシートを含む)を必ず貼付してください。

無償保証期間は1年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

## ドッキング (iPod を Wadia 170iTransport にセットする)の時の注意

**ドッキング後、約 10 秒待ってから操作を始めてください。**

この間に iPod と本機のマイクロプロセッサが相互確認をしています。  
相互確認中の 10 秒間に何らかの操作をすると問題の発生するおそれがあり、iPod と本機のリセットが必要になる場合が有ります。

## iPod 各モデルの動作と操作の違いは？

本機は、下記 6 モデルの iPod をサポートしています。  
それぞれのモデルで動作および操作が異なりますので、ご使用のモデルをご参照下さい。

	デジタル出力	クリックホイール操作 (デジタル出力時)	アナログ出力 *1	S ビデオ出力	コンポーネント出力
nano 第 1 世代		× *4		×	×
nano 第 2 世代				×	×
nano 第 3&4 世代				×	
Video 第 5 世代		× *4		*2	×
classic				×	
touch		*3		×	

\*1 : リモートコントローラーの"mode"ボタンを押しデジタル出力モードからアナログ出力モードへ切り替えます。デジタルとアナログの同時出力はできません。再びデジタル出力モードで使用するには、iPod を取り外し再びドッキングさせます。

\*2 : リモートコントローラーの"mode"ボタンを押し S 映像出力モードへ切り替えます。

\*3 : タッチスクリーン操作

\*4 : Wadia ロゴが iPod のスクリーンに表示されクリックホイール操作が機能しなくなります。

## ドッキング (iPod を iTransport にセットする)の方法は？

まず iPod を本機にドッキングする前に、本機のコネクター端子保護キャップと予め装着済みのドックアダプターを外し、ご使用の iPod に適合したドックアダプターを取り付けてください。(取扱説明書 11 ページ:ドックアダプター参照)

次に、iPod 本体の Dock コネクターポートを本機 iPod コネクター端子に差し込みます。

(本機のコネクター端子は、若干後ろに傾いていますので、iPod の角度をコネクターの角度と揃えてゆっくりと無理な力を加えず差し込んでください。)

本機から iPod を取り外すには、ドッキング時と同様に iPod の角度を変えずにゆっくりと引き抜いてください。

## ドックアダプターの選び方は？

本機には 5 種類のドックアダプターが付属しています。

(各アダプター裏側に対応する iPod モデル名が表示されています。)

- 1) iPod nano 第 1 世代用
- 2) iPod nano 第 2 世代用
- 3) iPod nano 第 3 世代用
- 4) iPod (video) 第 5 世代/60&80GB 及び iPod classic/160GB 用
- 5) iPod (video) 第 5 世代/30GB 用、iPod classic/80&120GB 用、iPod touch 用

ご使用の iPod に適合したドックアダプターを必ず取り付けてください。

**\* nano 第 4 世代用のアダプターは付属していません。Nano 本体に付属のアダプターをご使用下さい。**

## 電源コードの接続方法は？

付属の電源コードと AC アダプターを接続し、AC アダプターから出ている専用コードを本機リアパネルの“Power”に接続します。専用コードのコネクターは、ロック機構が付いていますので必ずコネクターを持って抜き差ししてください。コネクターの平らな部分が上面になるように持って、内側の金属の接点部分がしっかりと奥に入るまで押し込んでください。最後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

## デジタル出力の接続方法は？

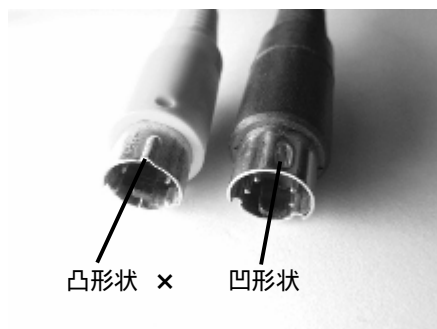
RCA 端子の同軸(S/PDIF)規格 75 のデジタルケーブルを本機リアパネルの“Digital Output”と D/A コンバーターや AV プロセッサの同軸デジタル音声入力端子と接続します。

## アナログ出力の接続方法は？

RCA 端子のラインケーブル(Lch と Rch)を本機リアパネルの“Audio Out”とプリアンプやプリメインアンプ等のアナログ入力端子と接続します。

## S/コンポジット映像出力の接続方法は？ (iPod video だけの機能)

市販の S 端子の映像ケーブルを本機リアパネルの“S-Video”とテレビや AV プロセッサー等の S 入力端子と接続します。本機の S ビデオ出力からコンポジットビデオ出力を取り出すには、市販の S 端子 コンポジット端子の変換アダプターが別途必要です。



- \* S 端子は、接点部分の内側に突起がある形状と外側に突起がある形状の 2 種類あります。本機に使用できる S 端子映像ケーブルは、接点形状が写真右のように凹形状接点の S 端子を備えたケーブルになります。
- \* 写真左側凸形状接点の S 端子を本機の S 映像出力端子に接続すると抜けなくなる恐れがありますので S 映像ケーブル使用の際は、端子形状を必ずご確認ください。

## コンポーネント映像出力の接続方法は？

市販のコンポーネント映像ケーブルを本機リアパネルの“Component Video”とテレビや AV プロセッサー等のコンポーネント入力端子と接続します。本機の映像出力は、iPod に取り込まれた映像をそのまま出力するため、映像のクオリティーは取り込まれた映像に影響されます。クオリティーを最大限引き出す為に、ディスプレイの調整が必要な場合があります。

## iPod nano 第 1 世代または iPod (video) 第 5 世代のメニューが、ドッキング後 iPod のスクリーンに表示されないのは？

iPod nano 第 1 世代または iPod (video) 第 5 世代を本機にドッキングすると、iPod のスクリーンには、メニューは表示されません。代わりに Wadia ロゴが表示され自動的にデジタル出力モードになります。デジタル出力モード時には、iPod のクリックホイール操作は機能しません。ドッキング前に、ミュージックの項目 (プレイリストやアルバム等) が再生されていると、ドッキング後も続けてその項目を再生します。特定の項目が再生されていないと、ドッキング後“全曲”を再生します。

### ドッキング後すぐに音楽が聞こえないのは？

ドッキング後 iPod と本機の相互確認に約 10 秒かかります。相互確認中の 10 秒間に何らかの操作をすると問題が発生する恐れが有り、iPod と本機のリセットが必要になる場合があります。

### ドッキング後、iPod のスクリーンに映像が表示されているが、iTransport と接続しているテレビに映像が出ないのは？

ドッキング後 iPod と本機の相互確認に約 10 秒かかります。その間に映像の再生操作をすると本機から映像は出力されません。ドッキング後 10 秒程度待ってから、映像の再生操作をしてください。

### ドッキング後、iPod のメニューが、iTransport と接続しているテレビに表示されないのは？

iPod のメニューを、本機と接続しているテレビに出力はできません。iPod に取り込まれた映像のみを出力します。

### iPod のファームウェアを最新に更新する理由は？

iPod 用機器として、本機は iPod の最新ファームウェアを前提に設計され、本機の機能も最新ファームウェアで動作確認をしているためです。お使いの iPod のファームウェアが最新で無い場合は、iPod と iTunes を同期させた時にファームウェア更新のメッセージが iTunes に表示されますのでメッセージに従ってファームウェアを最新に更新してください。( )但し、iPod Touch(iOS4.0)では、音途切れなど症状が発生することがあります。その場合は、一旦 iPod をドックから外し、完全電源オフ(スリープボタン長押し 赤スライダー操作)して再度電源オンにし、「ミュージック」モードにしてからドックに差し込んでください。また尚、iOS4.1 は 2010 年 9 月現在サポートされておりません。

### iPod nano 第 1 世代/iPod (video) 第 5 世代で iTransport からデジタル出力時に再生中のプレイリストが終了すると操作を受け付けなくなるのは？

iPod nano 第 1 世代/iPod (video)第 5 世代を本機にドッキングし、デジタル出力モードで使用する場合は、クリックホイール操作が機能しなくなりドッキング前に再生中のプレイリストを再生します。再生中のプレイリストが終了すると iPod の再生はストップし操作を受け付けなくなります。iPod を一度取り外し、再生したいプレイリストを再生しながらドッキングしてください。

## **iPod nano 第 1 世代/iPod (video) 第 5 世代をドッキング後、Wadia ロゴが iPod スクリーンに表示されないのは？**

ドッキングと取り外しを繰り返すと Wadia ロゴは iPod のスクリーンに表示されませんが、機能上問題は有りません。iPod 用機器に対する Apple のライセンス制約上 15 秒に一度のみ、ロゴを iPod スクリーンへ表示することが認められている為です。iPod スクリーンに Wadia ロゴが表示されない場合は、iPod を本機から取り外し 15 秒以上待ってから再びドッキングしてください。

## **iTunes から取り込んだムービーを再生中、次のチャプターへスキップすると、iPod がリセットされるのは？**

Apple のファームウェアに起因する症状で、現在 Apple 社でファームウェア訂正作業中です。症状が発生したら iPod と iTunes を同期させファームウェア更新の有無を確認してください。更新されている場合は、ファームウェアを更新してください。万が一症状が改善されない場合は、暫定的な対処法としてムービーのチャプターをスキップする場合は、2 つ以上先のチャプターへスキップしてから再生したいチャプターへ戻ってください。

## **カバーフロウがスムーズに表示されない、またはアルバムカバーがすぐに表示されないのは？**

カバーフロウ、またはアルバムカバーを表示させながら本機をデジタル出力モードで使用すると iPod のプロセッサ処理能力が間に合わずに発生する症状です。まれに音声途切れる症状が併せて発生する場合があります。デジタル出力モード使用時はカバーフロウをオフにて使用してください。

## **iTransport をリセットするには？**

iPod を取り外し、電源ケーブルを本体リアパネルから抜き 30 秒待ってから再び電源ケーブルを差し込みます。

## **iPod と iTransport が正しくドッキングしているのを確認するには？**

iPod と本機が正しくドッキングされると iPod スクリーン右上のバッテリーアイコンに充電中を表す稲妻マーク、または充電完了を表すプラグマークが表示されます。ドッキング後約 10 秒たっても稲妻マークまたはプラグマークが表示されない場合は、電源ケーブルおよび AC アダプターが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。

### iPod (Video) 第 5 世代の映像が S 映像出力から出ないのは？

リモートコントローラーの“mode”ボタンを押して本機を S 映像出力モードにする必要があります。  
iPod のビデオ設定の TV 出力をオンにしてください。

### iTransport のデジタル出力とアナログ出力を切り替えるには？

本機は、デジタル出力とアナログ出力の同時出力はできません。 iPod を本機にドッキングすると自動的にデジタル出力モードになります。 アナログ出力モードに切り替えるには、リモートコントローラーの“mode”ボタンを押します。 再びデジタル出力モードに切り替えるには、iPod を一度取り外し、ドッキングさせると自動的にデジタル出力モードになります。

### iTransport をアナログ出力モードで使用後、iPod を取り外すと接続していたテレビ、またはスピーカーから小さいハムノイズが聞こえるのは？

アナログモードで使用後、iPod を取り外すとスピーカーから小さいハムノイズが聞こえる場合があります。  
本機と接続している機器の入力セレクターを iPod から他の入力に切り替えてください。

### iPod が操作を受け付けない時のリセット方法は？

iPod : ホールドスイッチのオン / オフを切り替えます (ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します)。 センターボタンとメニューボタンを同時に押し、アップルロゴが表示されるまで6～10秒押し続けます。

iPod touch : スリープ/解除ボタンとホームボタンをアップルロゴが表示されるまで押し続けます。

AXISS

輸入発売元: アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622  
E-Mail: [post@axiss.co.jp](mailto:post@axiss.co.jp) Web Site: [www.axiss.co.jp](http://www.axiss.co.jp)